

はすだ 自治連だより

第36号

令和6年1月27日



編集・発行 蓮田市自治連合会

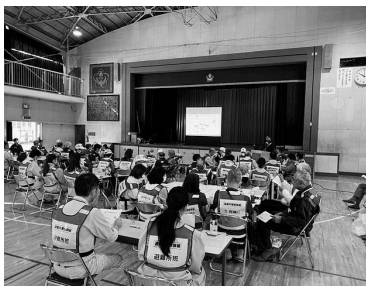
見沼町「自主防災部」が発足 市内41組織目

関東大震災から100年目となる今年、見沼町自治会では『見沼町自治会自主防災部』を4月に設立しました。蓮田市では、41番目の自主防災組織となります。「自分達の地域は、自分達で守る」という地域住民の『共助』に基づき、自主防災活動を目指します。自治会員全員を防災部員とし、役員は、自治会長、副会長、班長、民生委員、防災員で構成します。災害時、会長、民生委員は見沼町全体の取り纏めを、副会長はグループ内取り纏めを担い、班長は班内各戸の安否を『安否確認カード』で確認し、グループの副会長及び会長に報告する役割を担います。防災員は災害時における避難行動要支援者への支援並びに、平時における災害時への備えを進めるための中心的役割を担うボランティアの方々です。また、8月には、見沼町自治会自主防災部の設立総会と防災セミナーを同時開催しました。埼玉県自主防災リーダー養成指導員（防災士）で「いつも防災インストラクター」の稲毛田氏と危機管理課 小林課長の講演の後、安否確認カードの使い方の説明を行いました。（写真参照）

今後の予定としましては、令和5年に防災倉庫を設置し、防災資機材購入を進めていきます。

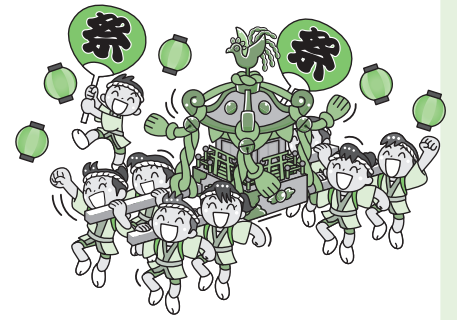


黒浜西小学校区『避難所開設訓練』の報告 11月4日



11月4日(土)に、蓮田市主催の避難所開設訓練が黒浜西小学校区体育館で行われ、黒浜西小学校区の協議会役員・防災会が参加しました。避難所開設では、施設の開錠から資機材の用意、受付や各種スペースの設置といった避難者を受け入れるまでの具体的な手順を習得しました。体験は4班に分かれ、避難者収容スペースの区割り、段ボールベッド・プライベートテントの組み立てを班員みんなで協力し行いました。今回の訓練は、具体的かつ分かりやすく、実践的でした。発災直後は、どうい方が避難してくるのか分かりません。自治会や防災会に引き継ぐまでの間、避難してきた方が主体的に避難所を開設しスムーズに運営できるようにすることが大切で、今後、訓練を重ね多くの方に体験していただき、災害に備えることが重要です。防災は、災害を未然に防ぎ被害を抑えることを目的にしていますが、一方、災害は起きるものとの前提で被害を軽減させる減災の取り組みも大切です。それは、避難場所や地域の危険を確認する、非常持ち出し袋の準備や備蓄をする、地域のつながりを大切にする、危険を感じたら早めに避難するなど、「自らの命を守るための行動」＝「自助」で、それらを再認識する避難所開設訓練でもありました。

特集 地域のお祭り



令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが第5類に移行されて最初の年となっている令和5年度ですが、各地域や自治会では、コロナ禍以前の活気ある自治会活動を実施するため、様々なイベントや行事を行っています。今回は、そんな中でも地域のお祭りに焦点を当て、活動をご紹介します。今後の皆様の地域活動や自治会活動のご参考にさせていただけますと幸いです。

盛況裡に終わった夏の祭典 椿山夏祭り

椿山自治連合会では、夏休みの思い出づくりが欲しいという子どもたちの強い要望に応じて、4年振りに、地域ぐるみの夏の祭典、一日開催の「椿山フェスタ2023」を開催しました。

子ども向け企画では、子ども会の大型テント模擬店を中心に、子ども御輿、子ども山車の運行、子どもミニプール、子ども達が描いた祭り絵の行灯など、親子共々、賑やかに楽しい思い出づくりに取り組みました。未曾有の酷暑が続く中でしたが、幸い天候に恵まれ、予想を大幅に上回る来場者を得て、各自治会やサークルが出店した12店の模擬店も早い時間の完売が続く、急遽、追加仕入れに走る状態が続く、舞台は、ダンス、津軽三味線、よさこい踊り、子どもゲーム、フラ、楽器演奏など、夜8時半まで大いに盛り上がりました。



蓮田桜台 夏祭り



蓮田桜台自治会では、8月19日に「自治会設立40周年記念 桜台まつり」が開催されました。

コロナ禍により3年の間、開催が自粛されていましたが、自治会員が待ち望んでいた「桜台まつり」がやっと開催できました。自治会員に加えて近隣地区の皆様も参加し、大勢のお子様をはじめとして400名をこえる多くの来場者が、神輿巡行、盆踊り、和太鼓演奏をはじめとする数々の楽しいイベントや模擬店を存分に楽しめました。蓮田桜台自治会では、自治会員が集い、交流し、みんなで充実した暮らしを支え合う、そんな街でありつづけることをめざした自治会活動が、活発に行われています。

平野子ども祭りを開催しました！

平野地区は少子高齢化が進んでいる地域で、子ども達との活動する自治会等の企画が減少傾向になっています。自治会、民生委員が発起人となり、子ども達が集まって遊べる機会を恒例行事としてきました。この何年か中止となり残念に思っていました。10月22日(日)第13回平野地区子ども祭り、当日天候に恵まれ来賓をお迎え大勢の地域の皆様方に参加していただき開催することができました。小学生のダンス、小中学生の吹奏楽部、お囃子連の子ども達の成長した姿を大勢の方に見ていただき、から揚げ、フルーツ、射的、紙飛行機、スーパーボール、輪投げ、車椅子体験等の催しを実施し、子ども達と地域の方々が交流することができました。



西城子どもフェスティバルを開催！西城



長らくコロナ禍並びに住民の高齢化により、自治会活動も困難な時代を過ごしてきました。コロナが第5類に変更されることを契機に、昨年度から開催を検討していた『西城子どもフェスティバル』を5月5日(こどもの日)に五反歩公園で開催しました。内容は子どもが参加するイベントのみとし、スタンプラリーで行いました。スーパーボール、わなげ、新聞紙かぶと作り、紙ヒコーキ、ベーごま、めんこ、ふうせん、ぬりえ、スカットボール、など。最後に、参加者全員で大ビンゴ大会を行いました。また、模擬店で綿あめ、かき氷、飲み物などを出店しました。従来のイベントは自治会役員や班長さんが中心となって運営してきましたが、今回は小中学生の親たちに実行委員をお願いし開催しました。今後も前例に囚われず、新しい形の自治会活動を模索していきたいと思えます。

自治会役員や班長さんが中心となって運営してきましたが、今回は小中学生の親たちに実行委員をお願いし開催しました。今後も前例に囚われず、新しい形の自治会活動を模索していきたいと思えます。

第2回 Oh!いちようフェスタを開催

11月19日(日)11時から15時まで、須賀神社境内において、「第2回 Oh!いちようフェスタ」を開催しました。見沼町、上1丁目、上2丁目、関山1丁目、関山2丁目、関山3丁目、関山4丁目、末広町8自治会合同で行いました。当日は、天候に恵まれ暖かい中、多数の方が来場されました。色づきたいちょうの木を中心に、晩秋の一日を楽しんでいただきました。来場された自治会員の皆様には会場で使用できる金券を配り、買物の一助としました。各自治会で飲食店として、肉汁うどん、焼きそば、焼き鳥、団子、綿菓子、ポップコーン、揚げパン、飲物の販売を行い、遊技場として、射的、ソフトダーツ、キャンディーすくい、ヨーヨー釣り等行い楽しんでいただきました。参集殿のステージ上では、フラダンス、マジックショー、アコーディオン演奏、津軽三味線演奏等が行われ、最後にAEDの使用法等についての説明会を行いました。



大災害発生の際、電気・ガスなどのライフライン寸断の可能性があります。
被災者には炊き出しによる温かい食事を提供する必要があります。
そのためにも日頃の防災訓練と共に、実践的な炊き出し訓練を行いましょよう。



災害時の炊き出しチャレンジ紹介

- ◎ 地域コミュニティ環境づくり
- ◎ 簡単調理で誰でも参加が可能な

- 炊き出しの際は食材をしっかり洗い、十分な加熱調理をして食中毒などの発生に注意することが大切です。調理場所や食器類なども清潔に保ち、発熱、手指に傷がある方は調理への参加をしないようにしましょう。



蓮田市
グリーンタウン炊き出し訓練
2023.10.29(日)実施

メニュー“鯖缶トマトカレー”

素材：鯖の缶詰、カットトマト缶、カレールー、おろし生姜などの調味料で実施。

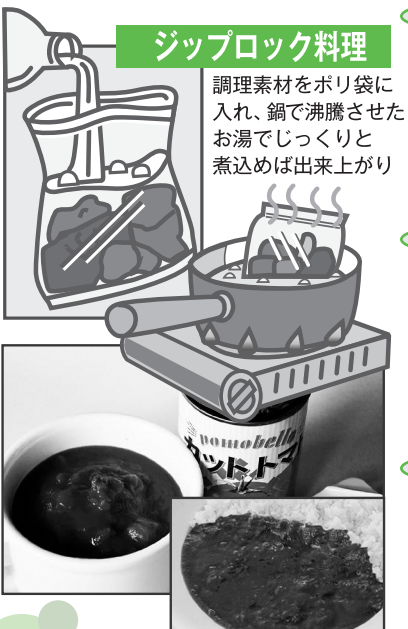
今回の炊き出し訓練は、ちょっとチャレンジしてみました。身近にある素材を利用して素早く調理の“鯖缶トマトカレー”。80名以上の方が参加されましたのでアルファー米を活用しましたが、試験的に生米から簡単にご飯が炊ける「炊飯袋」での“ご飯試食会”実施。食物アレルギーの方への配慮として「素材包装物の表示展示パネル」を設置。アレルギー体質の方も素材確認できれば災害時に安心して炊き出しを食べることができます。



食物アレルギーの方に配慮の表示包装



「炊飯袋」で炊いた“ご飯試食会”



ジップロック料理

調理素材をポリ袋に入れ、鍋で沸騰させたお湯でじっくりと煮込めば出来上がり



【カレー】【シチュー】【リゾット】【角煮】などお好みの素材を利用して楽しんでお作りください。

チャレンジ:1

不織布素材の「炊飯袋」でホッカホカご飯が

災害時の炊き出しは通常のお米が使いづらい。市販の不織布素材の「炊飯袋」に入れ沸騰した湯で炊き上げ、その後鍋の湯は捨てて蒸せば炊き上がり。いつものホッカホカご飯の出来具合です。簡単に炊けますので一度お試しください。



不織布素材の「炊飯袋」※紹介写真タイマー裏(10枚110円)

チャレンジ:2

ジッパー付ポリ袋で「ジップロック料理」を

災害時はライフラインがストップする可能性があり、簡単料理が必要となります。食材・調味料をポリ袋に入れ、お湯を沸かしたお鍋に入れて調理する方法のことです。カレーやシチューなどの煮込料理が最適。空気を抜いて加熱を。



ポリ袋に食材と調味料を入れ沸騰した鍋で煮込込

チャレンジ:3

食物アレルギーの方への配慮「素材表示」を

食物アレルギーの方は素材が不明な食べ物に不安を感じています。災害時に空腹を満たすためにも「使用素材の表示」があれば判断してもらえます。炊き出しの際、使用素材の包装材を掲示する配慮をしてあげましょう。(缶類も缶のまま)



缶の表示で素材確認を
使用包装材「素材表示」部分をそのまま貼付展示

【LFA食物アレルギーと共に生きる会 運営：大森 真友子氏】=提案を活用

「炊飯袋」でいつものご飯、「ジップロック調理」で簡単料理、「素材表示」で安心参加を促しましょう。

取材/編集：斎藤 芳男 / 防災士、埼玉県防災士会、埼玉県自主防災組織リーダー養成指導員、イツモ防災インストラクター、日本赤十字救急法救急員